

県政調査計画書

令和5年12月8日

神奈川県議会議員

殿

会派名 自由民主党神奈川県議会議員団

団長名 柳 下 剛

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 松田 良昭 (団 員) 高橋 栄一郎、原 聡祐、楠 梨恵子、 石川 巧、神倉 寛明、川崎 修平、 田村ゆうすけ、山口 美津夫、ます晴太郎、 小林 武史
2 調査目的	横浜市で2027年に開催予定の「国際園芸博覧会」は、来場者数1,000万人以上が見込まれ、花き園芸の振興にとどまらず、県内経済の活性化等の波及効果も期待されることから、本県としても、政府、博覧会協会、横浜市と一体となって、成功に向けた取組を進めていく必要がある。 現在、横浜開催の前開催となる「2023年ドーハ国際園芸博覧会」が開催されており、今回会場を視察して本県における開催に向けた施策推進の参考とする。 また、今年7月には岸田首相が中東のカタール、アラブ首長国連邦等を訪問し、幅広い分野での日本との一層の関係強化が確認された。 両国は中東における先進地域であり、経済面での日本企業との結びつきも深いことから、両国の特色ある企業、団体等を訪問し、今後の県内企業の海外展開支援等の参考とする。
3 調査期間	令和6年3月26日～令和6年3月31日
4 調査地	カタール、アラブ首長国連邦
5 調査項目	(1) ドーハ国際園芸博覧会 2023年10月2日(月)～2024年3月28日(木)に開催されている本博覧会は、横浜開催の直近開催となることから、日本国出展ブース及び博覧会会場全体を視察するとともに概要等について聴取し、今後の横浜開催成功に向けた施策展開の参考とする。



	(2) カタール港湾施設及び石油プラント カタールは中東有数の産油国であり、京浜工業地帯に多くの石油精製施設を持つ本県との関係も深いことから、カタールのSDGsや脱炭素に配慮した最新の港湾施設や石油プラントを視察し、今後の施策の参考とする。 (3) 在カタール日本大使館 カタールでは、昨年大規模な太陽光発電所が開発されるなど、脱炭素化に向けた動きが盛んである。日本政府としてもエネルギーインフラの海外輸出を積極的に進める方針を打ち出していることから、同国における経済情勢等の概要を聴取し、今後の施策展開の参考とする。 (4) ジェトロ・ドバイ事務所 アラブ首長国連邦のドバイは、中東有数の経済・再エネ・脱炭素社会の先進地域であり、多くの日本企業も進出していることから、日本と同国との経済交流の状況等について聴取し、今後の施策の参考とする。 (5) アラブ首長国連邦企業 アラブ首長国連邦のドバイは、中東有数の経済・再エネ・脱炭素社会の先進地域であり、持続可能な社会を目指した特色ある事業を展開している企業を視察し、今後の施策の参考とする。																																																												
6 経費の概算額	<table><tr><td>①</td><td>議員旅費</td><td>…</td><td>564,310円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>内訳</td><td>航空賃</td><td>420,110円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>宿泊費</td><td>96,800円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>日当</td><td>47,400円</td></tr><tr><td>②</td><td>通訳料</td><td>…</td><td>160,000円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>内訳</td><td>ガイド</td><td>79,000円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>専門通訳</td><td>81,000円</td></tr><tr><td>③</td><td>車借上料</td><td>…</td><td>90,000円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>合計</td><td>814,310円</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(調査団合計</td><td>8,957,410円)</td></tr></table>	①	議員旅費	…	564,310円						内訳	航空賃	420,110円					宿泊費	96,800円					日当	47,400円	②	通訳料	…	160,000円						内訳	ガイド	79,000円					専門通訳	81,000円	③	車借上料	…	90,000円						合計	814,310円						(調査団合計	8,957,410円)
①	議員旅費	…	564,310円																																																										
			内訳	航空賃	420,110円																																																								
				宿泊費	96,800円																																																								
				日当	47,400円																																																								
②	通訳料	…	160,000円																																																										
			内訳	ガイド	79,000円																																																								
				専門通訳	81,000円																																																								
③	車借上料	…	90,000円																																																										
			合計	814,310円																																																									
				(調査団合計	8,957,410円)																																																								

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	3/26(火) ～ 3/27(水)		午後 午前	飛行機 (12時間 55分)	(羽田空港～ドーハ・ハマド国際空港) 〈機中泊〉
2	3/27(水)	ドーハ	午後	バス	●視察1「ドーハ国際園芸博覧会会場」 ・概要説明聴取 14:00～16:15 〈ドーハ泊〉
3	3/28(木)	ドーハ	午前 午後	バス	●視察2「カタール港湾施設及び石油プラ ント」 ・概要説明聴取 10:00～11:30 ●視察3「ドーハ国際園芸博覧会会場」 ・概要説明聴取 13:30～16:00 〈ドーハ泊〉
4	3/29(金)	ドーハ	午前 午後	バス バス 飛行機 (2時間 15分)	●視察4「在カタール日本大使館」 ・概要説明聴取 10:00～11:30 (ドーハ・ハマド国際空港～ドバイ国際空 港) 〈ドバイ泊〉
5	3/30(土)	ドバイ	午前 午後	バス バス	●視察5「ジェトロ・ドバイ事務所」 ・概要説明聴取 10:00～11:30 ●視察6「アラブ首長国連邦企業」 ・概要説明聴取 13:30～16:00 〈ドバイ泊〉
6	3/31(日)		午前	飛行機 (9時間 45分)	(ドバイ国際空港～羽田空港)

※ 現地時間は、当該都市における時間である。

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 松田 良昭 (団 員) 高橋 栄一郎、原 聡祐、楠 梨恵子、石川 巧、 神倉 寛明、川崎 修平、田村ゆうすけ、 山口 美津夫、ます 晴太郎、小林 武史
---------	---

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 1 0 0 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 814, 310 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	4 泊 6 日の行程の中で、飛行機による終日移動日を除き、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は午前および午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	2027 年「国際園芸博覧会」については、その経済波及効果を高めるため、本県としても機運醸成に取り組む必要があり、直近の開催である「2023 年ドーハ国際園芸博覧会」の会場を視察することは本県の施策展開の一助となる。 - 中東には多くの日本企業が進出しており、これまでもインフラ構築やクリーンエネルギー分野で多大な貢献をしてきた。政府としても一層の関係強化を打ち出しており、県内企業の今後の進出先としても有望であることから、状況を把握する必要がある。

② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	・ 「2023 年ドーハ国際園芸博覧会」は横浜での開催の直近の開催であり、本博覧会会場の視察は時宜を得たものである。 ・ 県内経済はコロナから脱出し、世界進出する好機を模索する状況となっているほか、豊富なオイルマネーを背景に、カタール、アラブ首長国連邦は、国際的にも注目すべき取組を展開している。 ・ よって、この機会に現地企業を視察することは時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	・ 「国際園芸博覧会」は会場展示によって実施するものであり、現地で直接展示を視察することで、本県での施策展開に有効な、より多くの情報を収集できる。 ・ 企業等に関する情報についても、関係者から直接聴取を行えば、現地の現状を踏まえた今後の施策推進にとって、より詳細で有益な情報を得られる。 ・ よって、調査目的の達成のため、現地に赴く必要がある。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。